

令和7年度第2回花巻市社会教育委員会議 会議録

開催日時 令和8年3月16日(月) 午後2時00分～午後4時25分

開催場所 生涯学園都市会館 3階 第2・3中ホール

出席者 委員出席者17名 菊池豊議長、堀合範子副議長、渡邊康二氏、福盛田弘氏、川村厚氏、浅沼由美子氏、佐藤睦朗氏、黒須修一氏、菊池朋子氏、松葉孝博氏、小国朋身氏、千葉憲一氏、高橋福子氏、菊池清氏、大竹佐久子氏、高橋典人氏、渡部久美子氏

委員欠席者3名 鈴木恵子氏、和田圭市氏、佐々木さつき氏

事務局 6名 生涯学習部 菅野部長
生涯学習課 梅原課長、菊池課長補佐、鈴木生涯学習係長、吉田主査兼社会教育主事、大塚主事

説明者 7名 賢治まちづくり課 大竹課長
スポーツ振興課 奥山課長
花巻図書館 鈴木館長
花巻市総合文化財センター 上野所長
花巻市博物館 村田副館長
教育企画課 及川課長、佐藤総務企画係長

報道機関 岩手日日新聞社

傍聴者 なし

- 次第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議題
 - (1) 令和8年度の生涯学習・社会教育事業の計画等について
 - (2) 第4期花巻市教育振興基本計画(案)について
 - (3) 新花巻図書館整備について
 - (4) その他
 - 4 その他
 - 5 閉会

1 開会 (開会 午後2時00分)

事務局(菊池生涯 皆様お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。開
学習課長補佐) 会に先立ちまして、本会議の成立についてご報告いたします。

本日、欠席報告をいただいております委員は、名簿順で申し上げますと、1番の鈴木委員、10番の和田委員、17番の佐々木委員

の3名が欠席ということでご報告させていただきます。花巻市社会教育委員会議運営規則第7条の規定によりまして、本会議は委員の半数以上の出席により成立いたしますが、現在20名のうち17名のご出席をいただいておりますことから、本会議が成立することをご報告いたします。

続きまして、本日の資料の確認をしたいと思います。事前に郵送しているものもございますが、本日も用意したものもありますので皆様のお手元にお揃いであるか確認したいと思います。

まずは、表紙と裏面が名簿となっているものです。続いて、資料1としてA3横長で『第3期花巻市教育振興基本計画／「3生涯学習の推進」／主な事業の実施状況』と書かれているものです。それから、資料1-2、A4縦長のものですが「令和8年度一般会計予算参考資料」ということで、生涯学習部の部分を抜粋し添付してございます。こちらのほうは、本日特に説明は行いません。

続いて、資料2でございます。A4縦長のものですが、「第4期花巻市教育振興基本計画（案）」と書いているものが1つ。それから、A3横長のものを計画（案）概要版として添付しております。

続きまして、資料3としましてA4縦長のものです。1枚ですが、「新花巻図書館整備について」というものになります。

そのほか、A5の「配布書類について」、冊子「社教連会報 No. 98」と「岩手の社会教育 No. 70」、最後に「第48回全国公民館研究集会秋田大会」チラシがあります。

以上、お揃いでしょうか。不足しておりましたら、お申し出いただければと思います。それでは、改めましてただいまから令和7年度第2回花巻市社会教育委員会議を開会いたします。

開会にあたりまして、最初に菊池議長からごあいさつをいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

2 あいさつ

菊池豊議長

だいぶ春らしくなってきました。今年度第2回目の社会教育委員会議ということで、今年度に関わること、それから来年度に関わるのが主な議題となっています。

もう1つ、先ほどの資料案内でもありましたように「第4期花巻市教育振興基本計画（案）」が出ております。

それからもう一つが、今進行中の新花巻図書館整備についてというような3項目についての審議になります。皆さんに忌憚のない意見をいただきながら、よりよい社会教育になっていけばと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

事務局（菊池生涯学習課長補佐）

菊池議長、ありがとうございました。

続きまして、本日出席している職員を私のほうからご紹介いたします。（説明職員、事務局紹介）

3 議題

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

ここからの進行につきましては議長、副議長にお願いしたいと存じますが、はじめに、会議の公開基準に基づき、この会議の公開・非公開について確認をさせていただいた後に、議事進行をお願いいたします。それでは、菊池議長よろしくをお願いいたします。

菊池豊議長

それでは、今回の会議の公開について確認を行います。「花巻市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、本会議を公開することによろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは、公開することとします。さっそく議題に入りたいと思います。

令和8年度生涯学習・社会教育事業の計画、まず資料1について令和7年度の事業報告と令和8年度の事業計画の主な部分について説明をお願いしたいと思います。

はじめに、生涯学習の推進から説明をお願いしたいと思います。

事務局（梅原生涯
学習課長）

それでは、私から説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

資料1をご覧ください。資料に基づき、「3 生涯学習の推進」／主な事業の実施状況について、令和7年度の主な事業報告と令和8年度の主な事業計画をあわせて、事業ごとにご説明いたします。

最初に、①生涯学習講座開催事業、令和7年度に開催した講座等の実績は資料のとおりでございますが、オンラインの活用として、富士大学花巻市民セミナーに加え、新たにイーハトーブ花巻カレッジもアーカイブ配信を実施いたしました。

また、今年度開催の市民講座受講生が新たに生涯学習サークルを立ち上げたり、講座の受講をきっかけに既存サークルに参加したりする受講者がいらっしゃいました。

障がい者の生涯学習の推進については、令和7年度は従来から課題とされている当事者の学校在学時から卒業後の生涯学習支援について、当事者やご家族に対して生涯学習に関するニーズ調査を行いました。その内容をふまえ、令和8年度は当事者が地域の生涯学習に親しむきっかけとなる取り組みを検討したいと考えておりますし、生涯学習講座全体としても、講座内容を充実させて、引き続きオンラインを活用するなど多様化する市民ニーズに合った学習機会を提供したいと考えております。

次に、②生涯学習活動支援事業、2ページにわたっております。こちらはふれあい出前講座について、今年度は9人の新規講師登録がございました。生涯学習講師編は、開催回数、受講者数も前年度より増加しておりまして、市民の主体的な学習活動の促進に

つながったと考えております。来年度も引き続き、ふれあい出前講座の活用に関する情報発信に努め、市民の自主的な生涯学習活動を支援するとともに、活動の成果を発表する場として引き続き生涯学習フェア（まなび学園祭）を開催し、たくさんの方に見ていただき、そして、見ていただいた方々がご自分の生涯学習のきっかけとしていただけるように取り組んでまいりたいと思っております。生涯学習支援事業は以上です。

鈴木花巻図書館長

続きまして、花巻図書館から③視聴覚教育推進事業についてご説明させていただきます。1月末時点の数字を掲載しております。

まず、視聴覚ライブラリー、これは視聴覚教育に利用するための視聴覚資料やDVDプレーヤーや16ミリ映写機といった機材を貸し出す事業です。上映回数それから参加者数はこちらに書いてあるとおりでございますが、例年並みの数字で推移していると捉えております。

それから、16ミリ映写機の操作技術講習会の開催、参加人数は減ってきておりますが、まだ16ミリの資料がございますので継続して開催をしております。映画会の開催、こちら資料にある人数の方々に参加していただいております。大迫図書館のところに学童出前映画会が0回とございます。こちら、長期休みの期間に開催をしていたもので、学童クラブとの都合が合わず開催できなかったということですが、継続して開催していく予定でございます。そのほかにも、石鳥谷地域や東和地域などでも視聴覚教育のための映画会などを開催しております。

令和8年度につきましてですが、同様の内容で視聴覚教育を進めてまいりたいと考えております。申し訳ございません、資料のほうには記載がなかったのですが、初めての事業として、令和8年度郷土に関するVHS資料のDVD化を行います。以前にも、平成30年度から令和2年度にかけて15本ほどの教育委員会などが作成したVHSの郷土資料をDVD化する作業を行っておりますが、令和8年度から3か年の計画で予定では毎年6本程度ずつですけれども、VHSで持っている郷土資料をDVDにして残し、見ることができるよう取り組みをはじめてまいりたいと計画しております。以上です。

事務局（梅原生涯学習課長）

次は、3ページ目に移ります。④生涯学習施設整備事業でございます。令和7年度に計画していた改修工事等は予定どおり実施いたしまして、令和8年度は生涯学園都市会館（まなび学園）の情報通信機器設置業務を行います。まなび学園について現状では1階ロビーと2階のパソコンルームにWi-Fi環境を整備しておりますが、利用者の皆さんから「どの部屋を使うときでもWi-Fiが利用できるようにしてほしい」という声が多かったので、8年度

にアクセスポイント、持ち運びができるタイプの20センチ四方くらいのを5台導入いたしまして、適宜必要な部屋に機器を持っていき、Wi-Fiを利用できるよう環境を整備したいと考えております。

また、大迫の古川地区集落センターの耐震改修工事、石鳥谷生涯学習会館の講堂舞台等改修実施設計業務を行う予定としております。

鈴木花巻図書館長

続きまして、⑤読書活動推進事業でございます。記載にありますとおり、ブックスタート、ブックスタートプラス、それからおはなし会、みんなでライブラリー、読書活動推進スキルアップ講座などのイベントを開催してまいりました。1か所訂正がございます、おはなし会の実施というところですが、花巻図書館について「33回開催 延べ参加者数775人」とございますが、「延べ参加者数753人」が正しいものでございます。大変申し訳ございません、訂正をお願いいたします。例年どおりにおはなし会、ブックスタートも開催してまいりました。

それから、みんなでライブラリーのイベントでございますが、今年度は本屋大賞2025を受賞された阿部暁子さんのトークイベントを図書館主催で開催させていただきました。8月30日に花巻市文化会館の大ホールを会場として、500の方にご来場いただき大変盛況でございました。もう一つ、みんなでライブラリーの2つ目の内容ですが、みんなのおすすめ本を教えてくださいということで、12月から1月の期間をかけて、図書館に来ていただく方々からおすすめの本、私はこんな本をおすすめしますよというものを実際紙に書いていただいて貼り出し、それを利用者の方に見ていただいて、利用者同士のコミュニケーションを図る、紙を通してではありますけれどもコミュニケーションを図るというイベントを開催いたしました。こちらは掲示させていただいただけなのですが、利用者の方同士が本をすすめあうという今までにないイベントということで、大変好評だったと思っております。

続きまして、読書活動推進スキルアップ講座でございますが、今年度は製本講座、みんなで本を作ってみるという講座。そして、おはなし会をしてみよう、ボランティア団体の皆さんが開催されるおはなし会の作り方の説明と実際にやってみるというイベントを開催いたしました。

最後の読書おもいで帳の発行でございますが、令和5年度までは中学生以下を対象としておりましたが、令和6年度からすべての方を対象に発行させていただいております。6年度は大変多く大人の方に作っていただきましたが、今年度は724人、内訳とし

ては当初の対象であった中学生以下が 500 人、高校生以上の昨年度から新たに対象とさせていただいた方々が 224 人ということで、6 年度ほどの大きな伸びはありませんが、多くの方に利用していただいております。

8 年度も引き続き同じようにブックスタートやみんなでライブラリーなど、イベントの開催回数は少し減りますが開催によって読書活動の推進に努めていきたいと考えております。以上でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

次は、⑥図書館整備事業についてでございます。令和 7 年度は資料にございますとおり新図書館の基本・実施設計業務委託にあたり、公募プロポーザルにより公開プレゼンテーションを実施し、業者を選定したうえで、令和 8 年 1 月 7 日付で業務委託契約を締結いたしました。建設用地取得に向けては、土地の現況測量及び用地測量を実施し、おおむねの取得範囲を確認いたしました。

これを受けて、1 月 20 日開催の教育委員会議において、花巻駅前の土地約 3,704.12 平方メートルを教育財産として取得することについて、市長に申し出ることを議決し、同日付で教育委員会から市へ申し出しました。市はこの申し出を受けて、翌日 1 月 21 日付けで土地所有者である JR 東日本に対し、土地取得に係る正式協議の依頼を行いました。

8 年度は引き続き基本・実施設計を実施いたしますし、有識者から専門的アドバイスをいただきながら、資料購入等を検討していきたいと考えております。

続きまして、ページをめくっていただいて 4 ページ目になります。次は、「2. 青少年健全育成の推進」というところで①青少年活動推進事業になります。7 年度事業については、資料のとおりでございます。8 年度も引き続き同様に事業を進めてまいります。新たに部活動の地域展開を推進する取り組みとして、市内中学生を対象に様々な体験講座を実施するほか、はなまき！おもしろ探検隊のボランティアリーダーの対象を今までは高校生のみを対象としておりましたが、中学生まで拡大しボランティア活動に取り組みたいと考える中学生に対して活動機会を提供したいと考えております。

次は、生涯学習に関連する事業としまして、「2. 青少年健全育成の推進」（1）青少年の非行防止①少年センター運営事業についてです。7 年度事業については資料のとおりでございますが、84 名の少年補導委員の街頭補導活動回数は延べ 322 回、従事人数は延べ 690 人でした。8 年度も引き続き同様の活動を実施してまいります。

続きまして、5ページ目でございます。「3. 国際化の推進」①国際都市推進事業でございます。7年度事業については資料のとおりでございますけれども、今年度も5か国の文化をテーマに多文化共生サロンを実施したほか、語学講座、生活講座で技能実習生などの外国人市民と日本人市民と一緒に受講する形でAED講習や消火訓練の講座、そしてゴミの分別講座を実施いたしました。

また、なはんプラザ全館を貸し切って国際フェアを開催しましたが、特に外国人市民による外国紹介・交流体験などが好評で、市民の国際理解及び多文化共生への理解に資することができたと考えております。

来年度も引き続きこのような事業を実施する予定ですし、本市の友好都市の一つであるオーストリア・ベルンドルフ市はドイツ語圏でございます、ドイツ語、英語と日本語、そういった3か国語ができる方ということで、国のJETプログラムを利用し、国際交流員としてオーストリアの方を任用する予定としております。

次は、②国際姉妹都市等交流推進事業でございます。令和7年度は中高生などをお互いに派遣・受け入れをいたしましたし、ベルンドルフ市との友好都市提携60周年を記念して、市民訪問団がベルンドルフ市で開催された記念式典に参加いたしまして、これまでの交流を振り返りつつ、今後の交流継続をお互いに再確認したところです。8年度は引き続き中高生の海外派遣等の交流事業を進めるほか、米国ラットランド市との姉妹都市提携40周年を記念して市民ツアーを実施し、市の公式訪問団とともに市民の方にもラットランド市で開催される記念式典に参加いただく予定としております。

続いて、③国内友好都市等交流推進事業でございます。こちらは友好都市の平塚市や十和田市との交流を推進する事業でございますが、7年度は国内友好都市の小学生を対象に、自然体験交流事業や市民ツアーを実施しまして、国内友好都市との友好を深めることができました。8年度も同様に小学生を対象とした自然体験交流事業や市民ツアーなどを実施いたしまして、友好都市の交流を推進してまいりたいと考えております。「3. 国際化の推進」につきましましては以上でございます。

菊池豊議長

ありがとうございました。それでは、ここで一旦皆さんからご意見や質問等あれば伺いたいと思います。

高橋福子委員

7年度の事業報告を伺って、富士大学市民セミナーやイーハトーブ花巻カレッジのアーカイブ配信を実施して下さったり、広報はなまきに生涯学習の特集が少し掲載されたりしていますので、この会議で発言して意見を交換したことがすぐに取り組んで

いただけるということは、私たち委員も会議をした甲斐があるな
と思ってとても感謝しております。ありがとうございます。

生涯学習フェア（まなび学園祭）ですけれども、せっかくな
さんの人が集まる場所なので、私は市生涯学習講師としてジェ
ンダー平等と防災の講座を持っているので、もし可能なのであれ
ば、担当の都合もあると思いますけれども、こういうときになか
なか防災訓練には参加しない方々が、例えば防災クイズのスタン
プラリーで参加するとか、少しそういったことも検討して取り組
んでいただくとありがたいと思います。あの東日本大震災から
15年経っているのに、やはり震災当時ここには住んでいなか
たという方もいらっしゃいますし、子どもたちも忘れていま
す。震災後、子どもたちは学校で防災教育を学んでいますが、大人が
学ぶ機会というのは少ないので、もしできたら検討いただければ
と思います。

菊池豊委員
事務局（梅原生涯
学習課長）

ありがとうございます。ご意見です。はい、どうぞ。

まなび学園祭は、まなび学園で活動している皆さんが展示をし
たり、舞台発表したりというところですが、そういったもの以外
にも来てくださった方が参加して何かできるような、そういった
防災のスタンプラリーだったり、違うものでしたり、ご意見を参
考にさせていただいて考えていきたいと思っております。

菊池豊議長
菊池清委員

はい、ありがとうございます。ほかには。

菊池と申します。よろしくお願ひいたします。資料1ページの
家庭教育支援講座について、7年度は未就学児を持つ家庭向け
のみ開催ということで、今年中学生まで増やしたのにコースが昨年
度の予定よりも減っているのですよね。これはどういうことか
と思ひまして、せっかく増やしているのに開催できないのかな
と思ひました。

それから、同じように3ページですけれども、みんなでライ
ブラリーでは今年度は阿部暁子さんのトークイベントとおすす
めする本の展示含めて2回開催とお聞きしたのですが、(8年度は)
1回のみ開催予定とのこと、なぜ1回のみ開催となったのでし
ょうか。みんなでライブラリーはよいイベントだと思うのですけ
ども、そのあたりはいかがでしょうか。

菊池豊議長
事務局（梅原生涯
学習課長）

はい、それでは回数の件について。

最初に、家庭教育支援講座については、今年度やりきれな
かった部分もございまして、反省点が多いと思ひしております。
8年度は中学生向けの体験講座、何回かに分けていろいろな体験
ができるような体験講座を計画しておりますし、家庭教育支援
講座もそれと結びつけてできないかなど、いろいろとメニュー
を考えているところですので、来年度に向けて取り組んでい
きたいと思ひま

す。ありがとうございます。

菊池豊議長
鈴木花巻図書館長

よろしいですか。

ご意見ありがとうございます。おっしゃっていただいたみんな
でライブラリーでございますが、新図書館整備に向けて様々な取
り組みが入ってきておまして、そのなかで来年度現実的にイベ
ントを開催できる回数について担当で検討した結果、1回の開催
としたものでございますが、やり方はいろいろあると思います。
たくさんの人を一度に集めるようなイベントではなくてもできる
イベントもあるかと思しますので、今のご意見を参考に持ち帰り
まして2回できるとお約束はできませんが、検討させていただき
たいと思います。ご意見ありがとうございます。

菊池豊議長
千葉委員

では、ほかに。

いつもありがとうございます。県立生涯学習推進センターの千
葉です。私のほうから1点、1ページ目の緑色の令和7年度のま
とめのところ、障がい者の生涯学習の推進についてニーズ調査を
行ったということで、これがとても素晴らしいと思うのですけれ
ども、その概要をお聞かせしていただければと思います。

菊池豊議長
事務局（梅原生涯
学習課長）

それでは、お願いいたします。

ニーズ調査の概要でございますけれども、近隣の特別支援学校
ということで花巻清風支援学校の卒業生とそこご家族に対して県
教委のチーム社教の方の支援も受けまして、中部教育事務所管内
の他市町にもはたらきかけて、ニーズ調査・聞き取りをしたとい
うところでございます。調査では、卒業生や、そのご家族の皆さ
んのニーズを把握しただけではなく、地域における生涯学習支援
について、参加した当事者やご家族の皆さんにも考えていただく
機会になったと考えております。8年度はこれらの内容をふま
えて、何ができるかということを考えてまいりたい、事業を企画し
てまいりたいと思っています。ありがとうございます。

千葉委員

県のなかでもこのような調査で人ぐるみでというところがなか
なか進められていないのが、実は現状なのです。ですので、他市
町村のほうで見に行きたいとか、中身はどうだったのかというお
話もたぶん聞かれる場合もあるかと思しますので、本当にすすん
でなさっていて素晴らしいと思っております。今、共生社会と言
われていて、具体的にどういう手立てをとるところはこういう
ことなのですね。花巻市は本当に素晴らしいと思います。

今日、委員の皆さんがいらっしゃっているのですけども、委員
の皆さんで障がい者が含まれているという団体の方はいらっし
やいますか。残念ながら、(あまりない)ということですね。結局、
そういう方々がこういう本当に様々な団体と一緒に活動するとい
う。もちろん、それには様々な配慮が必要となってくるわけでは

ないですか。その配慮がすごくこれから必要となってきますし、それが実は最大の防災だと思っておりました。地域の方と避難したりするときの顔が見える関係性は、地域での学びを通じてできるということが、最後の取り組みの目標になるところかと思っております。

こういう事業というのは本当に結果として見づらくて、お金もかけづらくて参加者からの「本当に良かった」という声も小さかったりするわけなのです。こういうところが本当に大事なポイントになるのかなと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。以上です。

菊池豊議長
大竹委員

はい、大竹委員よろしく申し上げます。

大竹と申します。社会教育に関する事業として思っていたのは、東日本大震災が起こって15年経ったわけですけど、新聞紙上でも学校での復興教育というのが遅れているのではないかと、そういう機会がおそらくないというようなことが挙げられていました。もし、ライブラリーでできるのであれば、そういったものを用意して貸し出すとか、そういった感じのものが今あるのでしょうか。それとも学校に任せているのでしょうか。地域みんなが共有できるよう、常に何かあったときのために共有できるようなものがあるのかどうかお伺いしたいと思います。

鈴木花巻図書館長

図書館として3.11とか、そういった関連のものを含め防災関係の特別な棚をつくっているのかということであれば、郷土資料というところでそういった資料がございますけれども、専用の棚をつくって常時展示しているという状況ではないです。

ただ、今もやっておりますが、震災に関連した企画展示は行っております。3月中は行っておりますので、そういった形で利用者の方々に15年前のあの日を忘れないように、教訓にもつながる資料を並べて見ていただき、手に取って読んでいただくという取り組みをしております。

菊池豊議長

はい、企画展示では行っているということですね。

私から、1ページ目の令和7年度のまとめの一番上の記載ですが、これは非常に素晴らしいなと思います。生涯学習のお手本みたいなものですね。講座の受講生が新たに生涯学習サークルを立ち上げた、自ら学ぶということに発展したというのは、非常にいい講座だったのではないかと思います。こういう活動につながっていけば、もう生涯学習としては最高ですよ。最後に、生涯学習に関する関連事業についても、ご意見や質問があれば挙げさせていただきたいと思います。

なければ、社会教育・生涯学習に関する事業を終わりにして次に進みたいと思います。スポーツの振興に関するところ、お願い

奥山スポーツ振興
課長

したいと思います。

スポーツ振興課の奥山と申します。座って説明をさせていただきます。

1. 生涯スポーツの推進の①地域スポーツ推進事業につきましては、令和7年度の主な事業としてスポーツ指導員やスポーツ推進委員、地域スポーツ普及員を配置しまして、ニュースポーツの普及や各種イベントなどを実施してございます。

また、スポーツ教室・イベント等の開催でございますが、市民の健康増進、体力作りを図るということを目標に早起きマラソンあるいはニュースポーツ交流大会やスポーツ教室、スキー場でのイベントなどを実施しております。令和8年度も同様に進めてまいります。スポーツ推進委員と地域スポーツ普及員の改選期となっておりますので、現在、各地域の協力を得ながら選出を進めているところでございます。なお、早起きマラソンの50周年記念事業につきましては、記念式典・記念誌の作成等を行いました。令和7年度のみのものでございます。

続きまして、②地域スポーツ支援事業につきましては、スポーツ団体等に補助金を交付しまして、スポーツの振興を図っているものでございます。補助金の交付先といたしましては、花巻市スポーツ協会をはじめ、大迫町スポーツ協会、石鳥谷町スポーツ協会、東和町スポーツ協会、スポーツ少年団本部のほか、総合型地域スポーツクラブの活動支援として、昨年設立されたインボルブ花巻に補助金を交付しております。令和8年度につきましても、同様に補助金の交付を予定しているところでございます。

続きまして、下の段にあります。2. 競技スポーツの推進、①競技スポーツ支援事業についてでございます。全国大会等への出場支援ということで補助金の交付、あるいは市内で開催するスポーツ大会に対する補助金等の交付をしております。令和7年度のスポーツ大会開催支援としましては、例年の事業に加えまして、全国中学生ハンドボールクラブカップ2025、第30回全日本レディースソフトボール大会への補助を行っております。

令和8年度の事業といたしましては、4月26日開催の第14回イーハトーブ花巻ハーフマラソンにつきまして、3,000人の定員としておりますが、定員を超える申し込みを現在頂戴したところでございます。

令和7年度まで開催しておりましたイーハトーブレディース駅伝につきましては、今月27日に実行委員会の総会を予定しております。事業報告や収支決算のほかに、大会の終了などについてもご審議いただく予定としております。イーハトーブレディース駅伝につきましては、平成7年に宮沢賢治生誕100年祭のプレイ

メントとして開催をいたしまして、以後 30 年間継続してまいりました。長きにわたって親しまれてきた大会ではございますが、近年の参加者数の減少や周辺環境の変化、クマの出没なども含めこういったことをふまえて、大会の継続が難しい状況となっております。そういったことから、大会の歴史に区切りをつけるということを 27 日の総会に提案をさせていただく予定としております。

一方で、こちらにございます「はなまきドリーム・バレーボール（仮称）」につきましては、自治総合センター、いわゆる宝くじ助成事業になりますけれども、社会貢献事業として開催する自治体にとっては少ない費用負担で、トップアスリートとの交流事業を開催できるものでございます。元日本代表の女子バレーボール選手複数名に来ていただきまして、小中学生を対象としたバレーボール教室や交流試合、指導者研修などを予定しております。

続きまして、裏面になりますけれども 3. 大規模スポーツ大会の開催等について、スポーツコンベンションビューローが大会誘致に努めております。令和 7 年度の実績としましては、合宿として日本ローイング協会、いわゆるボートの日本代表になりますがこちらの合宿をはじめ、東京経済大学硬式野球部、高千穂大学硬式野球部、国士舘大学剣道部などが市内施設に宿泊をして合宿を行っております。

全国大会や東北大会のイベントについて 1,000 人以上の大規模な大会につきましては、令和 7 年度 64 ほどの大会などが開催されております。令和 8 年度につきましても、引き続き同様の事業を行う予定となっております。

次の④スポーツ施設環境整備事業になりますが、令和 7 年度は、別途記載のとおりスポーツ施設の改修・整備を行っております。市内のスポーツ施設は老朽化も進んでおりますが、順次優先度を定めまして修繕を進めているところでございます。令和 8 年度については、市民体育館の屋根外壁工事の実施設計をはじめ、石鳥谷ふれあい運動公園、ソフトボール場になりますがこちらの事務所棟改修の実施設計、鉛温泉スキー場のサイリスタ盤、電力の制御盤になりますがこちらの更新、それから二枚橋にあります卸センター体育館の改修などを予定しております。なお、ここには記載していない大規模改修として、例えば現在改修の実施設計を進めている JAL スタジアム花巻（花巻球場）ですが、こちらの改修などを予定しておりますが、これにつきましては 6 月補正予算での提案ということで今検討を進めているところであります。

最後に、女子野球タウン推進事業につきまして、令和 6 年 11 月に全日本女子野球連盟から東北初となる女子野球タウンの認定を

いただいております。令和7年度は女子野球大会の開催支援、少年少女野球教室や交流戦などを通じて、技術の普及と野球人口の拡大に努めたほか、JALスタジアム花巻に女子野球選手専用のトイレを整備するなどを通じまして、女子野球選手のプレー環境の向上に努めたところでございます。令和8年度においても女子野球の認知度向上や環境整備にさらに取り組んでいくため、「女子野球タウンフェスティバル(仮称)」を開催する予定としております。

今後実行委員会を組織しまして、関係団体等から意見を聞きながら進めてまいりたいと考えておりますが、主な事業内容といたしましては、現役のプロ野球選手複数名に来ていただきまして、JALスタジアム花巻を会場として学童野球に所属している子どもたちや野球経験のない子どもたちを含めた野球教室、プロ選手と高校生の交流試合やトークショー、グッズ販売や飲食の出店などを予定しておりまして、トップアスリートと触れ合って女子野球の魅力を伝える機会として10月頃に開催できればと予定してございます。

説明は以上となりますが、現在第2期スポーツ推進計画の策定作業を進めておりまして、今週審議会から答申をいただく予定としております。3月23日にその後、教育委員会議に意見をお聞きして今年度内の計画策定、来年度からの5か年の計画という予定で進めております。以上です。

菊池豊議長

はい、それでは今のスポーツの振興に関わる事項でご意見がありましたらお願いします。

高橋福子委員

①地域スポーツ推進事業のスポーツ指導員の方々や②地域スポーツ支援事業の各協会のスポーツの団体の方々について、ここには記載されていないのですけれども、指導員の方々の研修はどのようにされていらっしゃるのでしょうか。各協会にお任せしているのか、市として指導員や普及員向けの研修を行っているのか。

奥山スポーツ振興課長

はい、ありがとうございます。スポーツ指導員1人というのはスポーツ振興課の中に職員を配置しておりますので、県内等で行われる指導員向けの研修を受講するというのも1つですし、スポーツ推進委員に関しましては、スポーツ推進委員協議会がございまして、そのなかで今年度は自主的な研修ということで、ニュースポーツの研修を皆さんにさせていただいております。そのほかに、全県的あるいは全国的な研修等もありますので、そちらに行ってください研修をしているということになります。地域スポーツ普及員に関しましては、各行政区からご選出させていただいているような格好ですので、全体での研修の場は特にはないのですけれども、例えば、先日(市で)行ったニュースポーツ交流会に来て

いただくなど、そのような場で研鑽を深めていただくような方法をとっています。

菊池豊議長
高橋福子委員

いかがでしょうか。

近年、大学や高校の部活で指導者のパワハラとか、そういった課題が多く報道されたりするので、そういうスポーツに親しむほうの研修ではなくて、指導者としてどういうふうにあるべきかの研修を行うことも少し考えていただけると。せっかくスポーツをすることを楽しんでそれが自分の力になったり、体を鍛えたりというところに、そこで挫ける子どもたちが出ないようにと思うのでご検討いただければと思います。

奥山スポーツ振興
課長

ありがとうございます。ご指摘ありましたとおり、スポーツインテグリティの概念を含めて、様々な場面で研修あるいはさらに意見を深めていただく場面が必要であろうと考えてございまして、今回の第2期スポーツ推進計画（案）のなかでもそのあたりを指導者の研修ということで記載させていただいておりますし、またスポーツ推進委員協議会ともお話をしているなかで、そういった研修を増やしていこうということで話し合いをしておりますが、具体的な点についてはこれからということになります。以上です。

菊池豊議長

よろしいですか。

例えば、今は各スポーツにおいて、公認のスポーツ指導者という資格がありますよね。そういった指導者はどの位配置しているのですか。それぞれ競技の（協会）や団体で配置しているのでしょうか。以前はスポーツリーダーという資格のスタッフがおりましたが、今は変わりましたよね。

佐藤睦朗委員

そのことは、各競技団体が担当しています。それで、今は1～4（コーチレベル）までですね、どの競技スポーツも実績という取っ掛かりのところでは、各チームがそういう指導者を入れなければならないということで、資格を持った人間が指導にあたるというのが今の日本の流れです。そういうことを各競技団体が進めています。

菊池豊議長

以前は、スポーツリーダーという基礎的な資格を取り、それから競技のほうに行く流れだったところ改正となったのですよね。そういった資格者がついてやることが進んでいるということで。

佐藤睦朗委員

はい、そのとおりです。もちろん、そういう人たちにスポーツインテグリティの研修を、例えばこの前ハンドボール協会でも行っておりますし、各スポーツ団体で取り組んでいるところであります。

菊池豊議長

それから、地域スポーツ普及員というのは、各行政区から選出いただいているということですね。このような方向けの研修も、

これから検討して進めていくということによろしいでしょうか、ほかに。

松葉委員

イーハートブレディース駅伝が終了予定ということであったのですが、今年は宮沢賢治生誕 130 周年です。賢治生誕 100 年に始まったのですよね。開催は難しいという判断だったのかもしれませんが、生誕 130 年に最後を飾るとかがいいのかなと思います。意見させていただきます。

奥山スポーツ振興
課長

はい、ありがとうございます。説明のときに申し上げましたが 27 日に実行委員会の総会がありまして、その場で決定するという格好になっております。あと、事前にもう 1 回だけやるべきではないかという意見もあったのですけれども、最近のクマの出没の状況とか、安全性を考えた場合に、開催するべきかどうかというのは大きな論点といたしますか、考え方になっております。そのあたりもふまえた上で、今月末に協議をさせていただきたいと思っております。

菊池豊議長

はい、盛岡市などは意外と中止の方向に動いていますよね。財政的な関係ということで。この大会は、そのあたりどのように考えているのですか。

奥山スポーツ振興
課長

はい、財政面ということがまったくないかという、そうとは言えないかもしれませんが、基本的には費用対効果といたしますか、今までも参加人数について様々な方法で増やすよう努力をしてきた経過はございます。そういったなかでも、なかなかこれ以上は（開催は）難しいのではないかというような状況とか、あるいは周辺環境ということで、単純に財政面ということではないけれどもご意見があったと思っております。

菊池豊議長

あと、協賛について宝くじ関係のものがあつたようですが。

奥山スポーツ振興
課長

ここは誤解のないようにということで、宝くじの関係で「はなまきドリーム・バレーボール（仮称）」、これは単年度 1 回きりのものということで、全国でも数か所なのですけれども手挙げをしていたなかで当選したという少し言い方に語弊があるかもしれませんが認めていただいたと。花巻の場合は、平成 30 年度にはなまき・ベースボールフェスタということで、同じように野球とサッカーとバレーボールの（分野）がありまして、そのなかで（自治総合センター）に今回提案をさせていただいて、採択いただいた状況です。

一方で、こちらのイーハートブレディース駅伝に関しましては、テレビ岩手と花巻市の半々の持ち出しで開催してきた経過がございまして、そのほか市内温泉から入浴券など様々協賛はありますけれども、主にテレビ岩手と連携して事業を進めてきたところです。

菊池豊議長

はい、それではほかになければ、芸術文化の振興について説明をお願いいたします。

事務局（梅原生涯
学習課長）

では、芸術文化の振興についてご説明いたします。

最初に「1. 芸術文化活動の推進」の①芸術文化推進事業についてです。7年度は市民芸術祭で花巻地区の展示部門にあわせて、文化会館大ホールでチャレンジライブを行い、若い人に舞台上で発表する機会を提供しまして、高校のダンス部や演劇、音楽など多彩な発表の場となりました。8年度も引き続き市民芸術祭や小学生のためのアートセミナーに取り組みます。

次は、文化会館の事業でございます。7年度の文化会館自主事業は資料にあるとおりでございますが、自衛隊音楽隊や千住真理子氏のバイオリンコンサートなどで地元の中高生の合唱部や吹奏楽部が共演いたしました。8年度は文化会館大規模改修工事のため、4月6日から10月下旬まで全館休館となりますけれども、開館後に様々な自主事業を企画しておりますので、引き続き市民への芸術文化振興に努めていきたいと考えております。

続いて、③学校文化活動事業でございます。これは市民芸術祭展示部門に合わせて、小中学生の作品を募集し展示するという事業でございますが、今年度はおおむね例年どおり各学校から出品をいただきました。出品目録は紙のほかに二次元コードでも提供いたしました。来年度も引き続き作品を展示するほか、吹奏楽部などの舞台発表の場を設け、児童生徒の文化活動の成長を広く公開する機会を創出することにより、子どもたちの芸術文化活動への意欲の向上につなげていきたいと考えております。

ページをめくっていただいて、2ページ目、⑤美術普及活動推進事業でございます。これは萬鉄五郎を顕彰する事業として、萬鉄五郎記念美術館で行っている事業でございます。児童の写生会や萬鉄五郎祭などを行っております。来年度も引き続き郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰する事業として、市民の芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため、美術活動に取り組む機会を提供してまいります。

次は、⑥萬鉄五郎記念美術館等整備事業でございます。7年度は全館照明LED化の工事を実施いたしました。工事が終わりました。今新しい照明で企画展やっております。8年度は外壁塗装工事のための実施設計を行う予定としております。

続きまして、②先人顕彰推進事業でございます。7年度につきましては、資料のとおりでございます。先人ギャラリーでは今年度市民劇場で軽便鉄道を取り上げた作品を上演しましたので、軽便鉄道事業を通じて、当市の近代開発に寄与した先人を紹介しまして、相乗効果を図りました。

大竹賢治まちづく
り課長

このほか、今年度は新渡戸稲造に関する映画会も文化会館大ホールで行いましたので、そのときにあわせて佐藤昌介のパネル展を実施するなど、機を捉えて先人の功績を紹介いたしました。8年度も幅広い世代の市民の皆さんに地域の先人を知っていただき、そして興味を持っていただくために、今年度同様工夫しながら先人顕彰推進事業を継続していきたいと考えております。

それでは、2ページ目の③宮沢賢治普及・啓発事業につきまして、宮沢賢治イーハトーブ館の部分になりますので私のほうからご説明申し上げます。まず、令和7年度につきましては4つの企画展ということで開催をしてございます。ただいま実施しておりますのが、④第6回賢治さんの世界を描く絵画展ということで、市内の小学生の方々の絵画作品をイーハトーブ館の展示スペースで展示しております。また、宮沢賢治普及・啓発（後進育成）事業につきましては、賢治研究の一助とするための資料動画の作成ということで、イーハトーブ館に問い合わせの多い項目についての動画を現在作成中です。

3ページ目にまいりましてセミナー等でございますが、こちら先ほどお話いたしました企画展等に関連したセミナー等について、このような内容で開催をしてございます。令和7年度のまとめでございますが、セミナー等の開催については令和6年度に比べて（参加者が）増加したということでもありますけれども、要因といたしまして、企画展の関連イベントの開催を行ったこと、そして内容が好評であったということが要因と思われまます。新たな掘り起こしに努めてまいりたいということでもあります。

令和8年度の事業でございますが、2ページにあるとおり、今年度と同規模の4つの企画展を開催してまいります。一番下に記載しておりますが、今年、令和8年は宮沢賢治生誕130年に当たっているということで、記念して第5回国際研究大会を11月に開催する予定です。名前としては非常に堅苦しいですが、市民の方々も気軽に参加できる内容にしてまいりたいということで、宮沢賢治学会イーハトーブセンターで企画に取り組んでおりますので、令和8年度に入り企画が固まってまいりましたら、広く市民の皆さんにもお知らせしてまいりたいと考えているところでございます。

3ページ目にまいりましてセミナー等でございますが、こちらにも国際研究大会が出てまいりますが、今ご説明したとおりでございます。重点といたしましては、やはりこの国際研究大会の部分が主になってまいりますけれども、宮沢賢治生誕130年ということでイーハトーブ館を訪れる方々も増えると期待しているところでございますので、そういった方々に丁寧に対応したいと考え

ているところでございます。

また、その次に③宮沢賢治イーハトーブ館改修事業と記載してございますが、こちらについては照明をLED化する改修になります。以上でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

では、続きまして④企画展示事業でございます。花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館、花巻市博物館での企画展示事業でございます。

まず、花巻新渡戸記念館ですけれども、7年度実績は資料のとおりでございますが、開館記念行事「新渡戸フェスティバル」で新渡戸稲造博士と交流のあったシドモア女史を顕彰している「シドモア桜の会横浜」から、ソメイヨシノの苗木5本の寄贈がございまして、矢沢小学校・中学校の児童、生徒の方も参加して植樹を行いました。

8年度の重点としては、周知や広報の充実に努め、広く市民の皆さんに新渡戸家や稲造の魅力を発信すること、小中学校へ団体見学や出前教室の開催をはたらきかけることとしておりますが、今年度市内の小中学校の団体見学がございませんでしたので、教育委員会にも強くはたらきかけていきたいと考えております。

次のページ、萬鉄五郎記念美術館でございます。今年度も予定どおり資料に記載のある企画展を実施いたしました。8年度については、宮沢賢治生誕130年にあわせて賢治と美術をテーマにした企画展を予定しております。

村田博物館副館長

続きまして、博物館の事業についてご報告と8年度の事業計画についてご説明いたします。4ページのなかほどでございます。

テーマ展につきましては博物館に所蔵している資料を展示することによって実施するものでございますけれども、令和7年度におきましては「酒造りのわざ - 南部杜氏の美酒をたどる-」、「戦後80年 戦争と花巻」、「次世代へつなぐ花巻市の歴史-花巻市史編さんによる調査経過-」ということで、3つのテーマ展を開催しております。④「次世代へつなぐ花巻市の歴史-花巻市史編さんによる調査経過-」のテーマ展につきましては現在開催中でありまして4月12日までの予定ですが、参考までに（資料では）入館者数が空欄になっておりますが、昨日3月15日までの人数といたしましては、1,231人の入館をいただいているところです。

それから、特別展といたしましては「佐川美術館コレクション 平山郁夫展」ということで平山郁夫作品を展示しまして、こちらは9月から11月にかけて実施したところでございます。

令和8年度につきましては、同じように3つのテーマ展と1つの特別展を計画してございます。テーマ展としましては、1つ目が「-博物館資料でめぐる - 植物デザイン展」、植物をモチーフに

した資料を展示するものでございます。それから、2つ目として「つくり、つたえる 花巻の工芸」ということで、焼物ですとか、成島和紙、花巻傘などそういった花巻にゆかりのある工芸について紹介する展示でございます。それから、④の「花巻人形」のテーマ展では、花巻市博物館の資料である花巻人形のコレクションを展示するというものでございます。

そして、特別展といたしまして「大正イマジユリィの世界」ということで、こちらは主に大正期のブックデザインなどを展示する特別展ということで、9月から11月の予定で実施する計画ということでございます。以上でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

続きまして、1. 芸術文化活動の推進の生涯学習に関連する事業の文化会館施設改修事業でございます。

先ほど休館のお話をしましたけれども、文化会館は開館してから50年以上経過しておりますので、施設の長寿命化を進めるために、緊急度の高い部分から改修を進めております。今年度と来年度は2年かけて受変電設備の改修や照明のLED化、トイレの洋式化などの改修工事を実施しております。

また、この令和8年度の主な事業計画のところですが、今日机の上に置かせていただいた資料は自動火災報知設備の改修工事実施設計、エレベーターホールカーペットの更新について記載しておりますが、事前に郵送した資料についてこの部分の文字が隠れておりました。申し訳ありませんでした。これらの工事、大規模なトイレの洋式化のほかにも、休館中ということでエレベーターホールの赤いカーペットの更新をいたします。そのほか、特定天井対策工事、大ホールの天井など休館時でないといけない工事をする予定でございます。繰り返しになりますが、4月6日から10月29日まで長い期間休館いたします。皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。以上です。

大竹賢治まちづくり
課長

それでは、5ページ目でございます。①賢治のまちづくり推進事業につきましては、再び私からご説明申し上げます。

令和7年度の事業でございますけれども、賢治セミナー等講座の開催というところで、はなまき賢治セミナーの親子編や一般編などを開催いたしました。宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の贈呈式でございますが、第35回となりました令和7年度につきましては、宮沢賢治賞が1人、宮沢賢治賞奨励賞が2人、イーハトーブ賞が1人ということで9月22日に贈呈式を行ってございます。宮沢賢治記念館の特別展でございますけれども、こちら4つの特別展を開催してございます。現在、2月21日から5月31日まで「村童スケッチ」として開催中のものでございます。

宮沢賢治創造芸術公演でございますが、令和7年度は劇団わらび座の公演を行ってございます。賢治フェスティバルにつきましては、ライトアップを7月19日から10月19日まで行ったところでもありますけれども、実は10月26日までの開催予定であったのですが、25・26日は市内全域、全国的にもクマの出没が非常に相次いでいるところでもございましたので、安全を第一に考えまして中止したというところでございます。賢治アートストリート事業につきましては作品を入れ替えながら展示をしてございますし、賢治イベントカレンダーをこのように発行しております。令和7年度のまとめといたしましては、賢治関連のイベント、それからワークショップ等を開催しまして情報収集あるいは発信を行ってきたというところですし、童話村を使いまして野外ステージを活用したイベントなども開催してまいりました。イーハトーブフェスティバルにつきましては、一昨年は天候が悪かったのですが、昨年は天候にも恵まれて、多くの来場者にお越しいただいたところであります。

令和8年度は今申し上げた事業を継続開催してまいりますが、宮沢賢治生誕130年記念事業「賢治のチェロとトシのヴァイオリンで奏でる弦楽四重奏」を令和9年3月6日に開催する予定でありますし、創造芸術公演につきましても令和9年2月20日に山形交響楽団をお招きして開催する予定であります。また、特出しはしておりませんが、賢治フェスティバルにつきましてもイーハトーブフェスティバルの部分につきましていつもより時間帯を長く設定いたしまして、多くの出演者にご出演いただけるようにしてまいりたいと考えているところでございます。令和8年度の重点といたしましては、賢治の生誕130年であることから、これを記念し各種事業を行うということにしてございます。ただいま、特に説明しなかった事業につきましても、賢治生誕130年ということ踏まえてPRしていきたいと考えているところでございます。そのほかにつきましては、先ほど申し上げたフェスティバル等も拡充したところがありますので、令和8年度はこういった点から重点的に開催していきたいと考えているところです。以上です。

事務局（梅原生涯学習課長）

続きまして6ページ目、最後のページでございます。③企画展示事業、こちらは高村光太郎記念館と総合文化財センターの事業でございます。

最初に、高村光太郎記念館につきまして7年度は資料に記載しております事業を行いました。なかでも、高村光太郎花巻疎開80年企画展示事業では、高村光太郎が発行・装丁した宮沢賢治全集など4種類の全集をすべて展示紹介するなど、光太郎が花巻に疎

上野文化財センター
一所长

開した経緯や宮沢賢治との関係を知っていただく良い機会になったと考えております。8年度も引き続きこちらに記載している事業を企画してまいりたいと思います。以上です。

最後になります、6ページの下の方です。令和7年度の花巻市総合文化財センターの企画展示事業についてご報告いたします。ご覧のとおり計画に従いまして3つの企画展を実施してまいります。1つ目の企画展「山岳博物館とベルンドルフ」でございますけれども、こちらは旧大迫町とオーストリア共和国ベルンドルフ市との姉妹都市提携60周年を記念いたしまして、4月16日から7月6日まで開催いたしました。総合文化財センターに移管されました旧山岳博物館の収蔵資料を中心に紹介させていただきました。期間中234人の方にご覧いただいております。2つ目の企画展でございますが、「花巻城展-本丸御殿跡の発掘調査成果を中心に-」でございます。これまでの花巻城本丸御殿跡の発掘調査成果について紹介するものでございまして、8月2日から10月13日まで開催いたしました。花巻城跡の歴史や本丸御殿跡の発掘調査成果について、絵図などの画像資料と実物資料等を交えて展示いたしました。文献資料ではわからなかった御殿跡の高低差など調査によって明らかになった事柄等をわかりやすくご紹介申し上げまして、大変好評でありました。期間中382人の方にご覧いただいております。3つ目の企画展「遺跡のモノがたり-大迫地域の遺跡-」は市内4地域の遺跡に焦点を当てまして順に紹介しております企画展でございます。7年度は11月15日から2月8日まで大迫地域の遺跡についてご紹介いたしました。期間中99人の方にご覧いただきました。大迫地域の身近な遺跡や貴重な埋蔵文化財をご紹介申し上げたほか、被災した埋蔵文化財とその後の復元を併せて紹介いたしまして、文化財について考えていただく展示の工夫をいたしました。

なお、企画展示のほかに文化財センターの展示におきましては常設展示室の中に「早池峰の自然・文化・歴史・人」及び「埋蔵文化財」をテーマとした2か所の期間展示コーナーを設置いたしまして、年4回入替のうえ展示を行っております。

また、文化財を楽しみながら学べる体験学習コーナーなどを設置いたしましたほか、文化財に親しんでいただくワークショップ等を開催いたしまして、市民への文化財の周知を図ったところでございます。

続きまして、令和8年度の計画でありますけれども施設のテーマであります「早池峰の自然・文化・歴史・人」「埋蔵文化財」を中心とした企画展をご覧のとおり引き続き開催してまいります。3つの企画展を計画してまいります。また、引き続き常設展示室

に期間展示コーナーを設置するとともに、文化財を楽しみながら学んでいただけるような体験学習コーナーを設置いたしまして、文化財の市民への周知を図ってまいります。以上でございます。

菊池豊議長

それでは1ページ目に戻って、芸術文化の振興に関するところについて一括して質問やご意見があればお願いいたします。

黒須委員

委員の黒須と申します。よろしくお願いたします。芸術文化の振興についてお願いがあるのですけれども、自分たち花巻青年会議所で私、委員長職を預かっているということで、社会教育委員の職を仰せつかっていると思いますが、やっぱり高校生や小学生が展示に行くような展示を少し考えていただけないかと思っております。申し訳ないのですけれども、もちろん私たち位の世代であれば、新渡戸稲造や宮沢賢治、萬鉄五郎などについて知りたいと思うし、歴史を学ぶところでいろいろあると思うのですけれども、はたして高校生の教室にチラシなどを掲示して来場者数は見込めるのでしょうか。例えば、イーハトーブ・フェスティバルは毎年やっていてそこでいろんなライブがあって、出演者が来るなかでその場所に行って、現地のものも見て、そこでさらに賢治について知るということもあると思っているので、僕は新渡戸稲造が「どうだったか」だけではなくて、そういったところ（イベント）で何か展示をしてみて、参加者が来たことで知ってもらうという展示方法もあるのではないかと。例えば、「岩合光昭さんのネコ歩き世界」の企画展が東和町の萬鉄五郎記念美術館で開催された際もそういう相乗効果があったのではないかと思いますし、もちろん重要なことではあると思うのですけれども、少し展示の方法も例えば近代アートなど様々なものがあるかと思っておりますけれども、こだわらずにやってみること、視点を変えていただければと思います。意見でございますので、今後何かそういったものがあればありがたいと思います。

菊池豊議長

何か、今のお話でありますか。

事務局（梅原生涯
学習課長）

ご意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

菊池豊議長

それでは、ほか。福盛田委員、何かありますか。

福盛田委員

福盛田と申します。市民芸術祭の実行委員の役員をしておりますのでその関係からお話したいと思っております。今年度も11月1～3日の3日間、文化会館で花巻地区の市民芸術祭の展示部門を開催したところでございます。そのなかでここにも書いてあるように、高校生のチャレンジライブのステージがありました。その関係で多くのお客様が来られており、キッチンカーが出店するなどにぎわいの創出に貢献されたのではと思っております。当日、会場の関係で少し手違いがあり、そういった点は反省点であると思つて

おります。

花巻新渡戸記念館につきまして、「シドモア桜の会横浜」から桜の木の寄贈がありましたので、雨の中矢沢小学校・中学校の生徒が苗木の植樹をいたしました。皆さんにもぜひ来館いただいて、雰囲気を感じていただければと思っております。私は、矢沢地区の住民で新渡戸記念館の運営審議会の委員も務めておりますが、矢沢地区の「タウンやさわ」という全戸配布されるタウン誌のなかでも新渡戸記念館について触れております。ぜひ、ご覧いただければと思います。令和8年度、文化会館は休館になりますけれども、事業などいろいろ再開された際は来て見ていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

菊池豊議長
小国委員

はい、それでは小国委員はいかがですか。

6ページの総合文化財センターの8年度の「山博コレクションV」なのですが、ちょうど早池峰山の登山シーズンにあわせていただきましてありがとうございます。1つお願いなのですが、どうしても行政というのは、宣伝が下手なのですね。ちょうど登山シーズンでシャトルバスの発着所ができますので、そこに看板か何かを設置すれば、早池峰山の登山であればだいたい午前中で終わりますので、午後から多くの方に入館していただけるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

上野文化財センター
一所长

はい、貴重なご意見ありがとうございます。「山博コレクションV」の周知ということで、シャトルバスの発着所については何かしら周知を検討したいと思います。

菊池豊議長
菊池朋子委員

菊池朋子委員はいかがですか。

ガールスカウトの菊池です。以前もお話したことがあるのですが、私たちは年に1回か2回、平塚・花巻交流の森でキャンプをさせていただいております。だいぶ古くなってきましたね、そのあたり危険な箇所もありますし、危ないものは避けてあたりはしているのですけれども。前にお話したところ、生涯学習課の担当ではないという回答をいただいたのですが、国内友好都市交流事業の少年・少女交流事業も平塚・花巻交流の森で開催されていると思いますので、そのあたり整備をもう少ししていただけたらと思います。あと、沢に流れる大きい沼があります。そのあたりも危険箇所ではあるので、整備をしていただけたらと思います。

お話は違うかもしれませんが、田瀬のオートキャンプ場も昨年キャンプしようかと思ひ下見に行ったのですが、オートキャンプ場なので、テントサイトとかにも電気がついておりまして利便性はいいと思うのですが、結局炊事場を使う人がいないようです。すごく立派で素敵な炊事場なのですが、鳥のフンがすごいことに

なっていてそのあたりの整備もしていただけたらもっと気持ちよく使えたのにと、キャンプ開催には漕ぎつけなかったのですが。声がどこか届く課があれば届けてほしいと思います。よろしく願いいたします。

菊池豊議長
事務局（梅原生涯
学習課長）

はい、公園関係ということになりますか。

平塚・花巻交流の森の話の先にさせていただきますと、建設部の公園担当が整備する部分になるのですけれども、道路に大きな木がはみ出した部分があって、昨年そこは切っていただいてバスが入れるようにしたのですが、国際交流室で行っている友好都市の交流事業については、クマの影響等もございまして、去年は平塚・花巻交流の森でキャンプファイヤーは行わず、湯本振興センターの体育館でキャンドルファイヤーを行いました。今年もキャンドルファイヤーという形でやる予定です。ただ、沼のところで魚釣り体験はしますので、事前に枝打ちなど対応したいと考えていますが、本格的な整備となると担当課のほうにご意見として申し伝える形になり、ここで回答はできませんが、ご了承ください。

菊池豊議長
堀合副議長

はい、ほかはございますか。

堀合です。施設借用等がオンラインでできるようになって、遠くからでも行ったりすることがなくなり大変よくなったと思っておりますが、（システムの）説明会がもう終わったと聞きました。実は、昨日それが団体内で話題となりまして調べたところもう説明会が終わっていたと。あと、抽選結果について、直接その施設へ行くと当日結果が分かっていたものが、分かるまでに日数がかかるということを目にしましたが、そのあたりはいかがでしょうか。今後の改正、それから、説明会で（説明された）要点などお聞きできればと思います。

事務局（梅原生涯
学習課長）

新しい公共施設予約システムの説明会は終了しております、追加開催となると担当課や各施設対応の形になると思います。抽選形式はまなび学園の場合、例えば6月利用分を4月1日に抽選しますが、その申し込み期間は3月に設定されていまして、その期間にインターネットで申し込みしてくださった方、あとは窓口で直接申請書を持ってきてくださった方すべてを4月に抽選して、結果をすぐお知らせいたします。ただ、すべて事前申し込みになるのではなく、抽選が終わった日の午後から抽選ではない通常の申し込みを受け付けるという形式です。抽選があるのは、まなび学園とスポーツ施設、各振興センターなどです。説明会は終了しましたが、使用する施設へお問い合わせいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

堀合副議長
菊池豊議長

分かりました、ありがとうございます。

はい、それでは芸術文化の振興に関してはよろしいでしょうか。

堀合副議長

最後に、全体をとおして何かございますか。よろしいですね。

それでは、(2)の議題に移りたいと思います。「第4期花巻市教育振興基本計画(案)」について、説明をお願いいたします。

及川教育企画課長

はい、教育企画課の及川と申します。

それでは、「第4期花巻市教育振興基本計画(案)」につきまして説明をさせていただきます。恐縮ですが、着座での説明をお許しいただきたいと思います。資料につきましては、事前に概要版と計画(案)を郵送させていただいておりますが、本日は主に概要版を使って説明させていただきたいと思います。

それでは、概要版をご覧くださいましてははじめに左側の1『計画策定の趣旨と概要』でございます。教育振興基本計画の策定根拠につきましては、教育基本法第17条第2項の規定によりまして、本市の教育振興の方向と目標を定めまして、これらを達成するための基本的な政策・施策を体系化するものでございまして、花巻市まちづくり総合計画の「子育て・人づくり」分野の教育に関する具体的な方向性を示すもので、計画期間は令和8年度から令和12年度までの5か年とします。

次に、2『計画の策定手法』を記載しております。この策定する方法といたしましては大きく4つございまして、まずは(1)ということで「花巻市教育振興審議会」、これは今年度これまでに7月、9月、11月の3回、教育関係者や学識経験者等を構成員とする教育振興審議会を開催いたしまして、課題認識でありますとか、政策・施策の体系や取り組みの内容など、計画を構成する内容について協議してまいりました。また、10月24日付で社会教育委員の皆様へ、文書で計画書の素案を送付させていただきましてご意見を頂戴した上で、計画案を検討させていただきました。

(2)の市民アンケートにつきましては、市内の保育園等に通う園児の保護者でありますとか、保育士、それから市内小中学校に通う児童・生徒の保護者、そして小中学校の教職員、スポーツ協会・芸術協会の関係者の方々、指定文化財保持者の方々とコミュニティ会議など地域関係者と教育に関するステークホルダーと捉えられるの方々に対しまして、現状や課題の認識について把握するために令和7年2月に実施したものでございます。

(3)のパブリックコメントにつきましては、「教育振興協議会」や市民アンケート、そして教育委員会協議会や庁内での検討をふまえた検討案として整理した上で、本年2月16日から明日3月17日までを期間として現在実施中でございます。

こどもからの意見等募集につきましては、計画内容をやさしくまとめた概要版というものを作成しまして、小学校5・6年生と中学校1年生を対象に、1月21日から2月6日を募集期間といた

しまして計画内容についての意見でありますとか、感想を募集させていただいておりました。これは、こども基本法でありますとか、こども大綱に基づき子どもの意見を表明する機会を設けようとしたものでございます。

次に、3『本計画において目指す「市の姿」と政策分野』を記載してございます。基本目標について、まず第4期計画において目指す「市の姿」につきましては、教育振興審議会で議論・検討いたしました『学びから つむぐ笑顔と 豊かな心』としております。この目標でございますが第4期計画におきまして、例えば幼児教育と小学校をつなぐ架け橋の取り組みでありますとか、不登校児童生徒と学校や地域とつながり、部活動の地域展開により子どもと地域をつなぐ取り組み、地域への学びと活動の循環など「つなぎ・つむぐ」取り組みが大変重要でございまして、力を入れる必要があると考えたものでございます。また、国の教育振興基本計画では、コンセプトといたしまして「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げております。ウェルビーイングは、地域や社会全体が良い状態に保っていることと解釈されておりますが、ウェルビーイングの実現をわかりやすく共有できる姿を「笑顔」ということで整理したものでございます。

そして、教育を通じまして、学力はもちろんのこと自己肯定感や思いやりの心、多様性を認めあう姿勢など基盤となる力を育て、子どものみならず大人も含めて市民が生涯にわたり学び続けることで生きる力につなげていただき、まちづくりに活かす意欲といった「豊かな心」を、市民1人1人に育てていただくことを目指そうというものでございます。

次に、右側には4『花巻市の教育を取り巻く現状と課題』を記載しております。計画の本文では、現計画の評価やアンケート調査、人口等の統計データ、児童・生徒に係るデータなどによりまして現状や課題を整理しておりますが、資料はそれらをまとめたものになります。

次に、資料の裏面にまいります。課題等をふまえて、第4期計画の政策体系としての取り組みを組み立てさせていただき、これを一覧にまとめたものがこちらの表になります。各政策・施策のなかから主なものを抽出して説明をさせていただきますと、

はじめに政策1『就学前教育の充実』、本文では41ページからになりますが、施策1「就学前教育の推進」の主な課題といたしまして、小学校入学後の環境に馴染めない子どもの増加を挙げておりますが、この課題に対する取り組みとして右側に記載しております。⑦就学前教育プログラムの推進におきましては、幼児教育と小学校教育との円滑な接続のために、系統的な研修を保育園・

幼稚園・認定こども園が一体的に継続して実施することや、「花巻市架け橋期のカリキュラム」をふまえて、保育園・幼稚園・認定こども園と小学校の連携を深めるための交流でありますとか、合同での研修を継続して実施することとしております。また、①発達に関する相談機能の充実では、発達相談の実施でありますとか不安を抱える保護者への相談機能の充実を図りまして対応していくこと、5歳児健診を含む各種健診によりまして発達に課題がみられる場合には、早期に支援を開始することとしております。

次に、政策2『学校教育の充実』、計画書の本文では45ページからになりますが、施策1「確かな学力の育成」では本市の学力状況は改善傾向にありますものの、全国や県の平均と比較いたしますとそれを下回る傾向があるという状況をふまえて、主な課題といたしましては、学力の現状把握や分析から改善の流れを定着させることを捉えております。この課題に対する取り組みといたしましては、⑦花巻市学力向上アクションプランの推進におきまして、「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」「家庭や家庭学習の充実」の3つを重点といたしまして、適時適切な支援体制を整えるということにしております。施策4「誰一人取り残さない教育の推進」では、課題といたしまして不登校児童生徒の出現率は全国水準を下回っているものの、増加傾向にあるということを挙げております。この課題に対する取り組みといたしましては、①不登校児童生徒への支援の充実におきまして、増加傾向にある不登校への対応として市内のフリースクールでありますとか、市のPTA連合会、関係機関や地域とのネットワークというものを構築いたしまして、共通理解のもとで予防策や支援策を検討するという地域ぐるみの支援体制づくりに取り組むこととしております。また、生徒支援員や教育相談員、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問のほか、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施し、校内教育支援センターの設置を進めまして教育相談の充実を図ることなどを挙げております。施策5「学校・家庭・地域との協働の推進」におきましては、取り組みの中で国の改革実行期間とあわせて取り組みをする進めております。④部活動の地域展開について記載しておりまして、その受け皿として生涯学習、スポーツ、芸術文化の施策のなかでも取り組みにつきまして、掲載をさせていただいております。施策6「教育環境の充実」では、④小中一貫教育の導入におきまして本市で初めて導入いたします小中一貫校に向けた施設整備でありますとか、特色を生かしたカリキュラムの導入などハード・ソフト両面の取り組みを記載しておりますほか、⑤小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みにおき

まして、「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」で示しております「学校の特性」の実現と多様な学びを提供する教育環境を創出するために、保護者や地域住民の方々の意見を十分聞きながら、学校統合のほか、学校規模の適正化や適正配置の検討をすすめることとしております。施策7「教員の働き方改革の推進」、本市において「学校における多忙化解消プログラム」による取り組みを進めて、時間外在校等時間数というものがあるのですが、それは年々削減されてはきているものの、いまだに平均時間が高い状況をふまえて「児童生徒と向き合う時間の確保」「教職員のワーク・ライフ・バランスの実現」のための業務の適正化を図ることを課題と捉えておりまして、これに対する取り組みといたしましては、まず①教職員の働き方改革におきまして、「学校における多忙化解消プログラム」を着実に推進し、また国のいわゆる改正給特法によりまして、業務量管理、健康確保措置実施計画を策定するというようになっておりますけれども、時間外在校等時間数の目標設定、DXを含めた働き方の改善策の導入、教員の業務量を見える化するなど対策を進めてまいります。

政策3『生涯学習の推進』、計画本文の59ページからとなりますが、こちらにつきましては社会教育委員の皆様より文書でいただいたご意見のなかで「各地域の生涯学習活動に学びと活動の循環による地域づくりを位置づけるべきではないか」という意見を頂戴いたしました。ありがとうございます。地域に根差した生涯学習の推進は重要な視点と考えますことから、計画本文の59ページの基本方針の本文に「学びの活動の循環」による地域づくりを目指し必要な支援を行うという一文を記載してございます。施策1「生涯学習・社会教育事業の充実」では主な課題といたしまして、オンライン学習の普及など学びの多様化というのが進んでいることへの対応を挙げておりまして、取り組みといたしましては②多様なニーズやライフスタイルに応じた講座の開設でありますとか、③自発的・自主的学習活動の支援と相談体制の充実、④情報発信の強化などに取り組むこととしております。また、社会教育委員の皆様よりいただいたご意見のなかで⑤青少年活動の推進におきまして、本文中に「部活動の地域移行」という表現がありました。が、「部活動の地域展開」という言葉に改めるべきではないかというようなご意見を頂戴いたしましたことから、表現を「部活動の地域展開」へ改めさせていただいております。新図書館の整備に関しましては、新図書館の着実な整備を課題といたしましてこれに対する取り組みとして、⑥新花巻図書館の整備におきまして令和12年度中の開館を予定しておりまして、市民の

方々の課題解決に役立つ知の情報拠点を目指し「新花巻図書館整備基本計画」に基づきまして、市民の方々や専門家の方々の意見を反映させながら整備するということを考えております。また、社会教育委員の皆様よりいただいたご意見のなかで、㊦生涯学習関連施設の充実・利用促進のなかに「学校図書館との連携を進めます」といった記載があることに関して「読書おもいで帳を全学校に導入してはどうか。大きくなっても、花巻が好きという子どもが増えれば」というようなご意見をいただきました。読書おもいで帳の全学校への導入につきましては、大変申し訳ございませんが現時点でお話するものではございませんので、ご意見として承るものではございますが、計画 62 ページの読書活動推進事業におきまして学校図書館との連携の具体的取り組みとして、読書おもいで帳のほか、希望のあった学校への市立図書館の一部を文庫として貸し出す「幼児文庫・学校文庫等の実施」という文言追加をさせていただきました。

次に、政策 4 『スポーツの振興』、計画本文の 65 ページからになりますが、令和 8 年度からの第二期スポーツ推進計画の策定が最終段階に入っており、それに合わせた内容として施策 2 「競技スポーツの推進」のなかで課題としてスポーツ現場におけるハラスメント等について高橋委員からもご指摘がございましたが、スポーツを実施する機会を奪うことがないよう競技者の心身の安全・安心の確保を掲げております。これに対する取り組みといたしましては、㊧競技レベルの向上のなかで、スポーツ実施者や競技団体へのハラスメントやスポーツインテグリティに関する講習会を行いまして、健全なスポーツ環境の確保に取り組むとしております。それから、施策 3 「地域を活性化させるスポーツの推進」では、これまで施策名を「大規模スポーツ大会の開催」としていたところでございますが、第 2 期スポーツ推進計画の策定に向けた検討にあわせて施策名を改めたものでございまして、大規模スポーツの大会に限らず、交流人口の増加に向けた様々な取り組みを行ってまいります。スポーツイベントや合宿の誘致といったこれまでの取り組みに加えまして、令和 6 年度に本市が女子野球タウンに認定されましたことから、女子野球を通じてまちづくりや女子野球の認知度向上にも取り組んでいくこととしております。

次に、政策 5 『芸術文化の振興』、69 ページからになりますが施策 1 「芸術文化活動の推進」では、課題といたしまして活動団体が高齢化等により活動の継続に不安があるという状況を挙げておりますが、そこに対する取り組みといたしましては㊨芸術文化活動に対する支援について、若者を含めたより多くの市民が芸術

文化活動に参加する機運を醸成するために、その文化活動のPRでありますとか、活動の成果を発表する場の確保に継続して取り組むということにしております。

政策6『文化財の保護と活用』、計画本文では73ページからになりますが、施策1「文化課の保護と活用」では課題といたしまして、文化財に対する市民の関心や認知の向上が必要であるということ等を挙げておりました、これに対する取り組みといたしましては、⑦花巻市史の編さんにおきまして、市史の編さんに向けて取り組みを進めておりますほか、児童向け市史の刊行を行うこととしております。また、⑧文化財の保護と活用の推進で文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保護措置、文化財を周知する講座等を実施していくとしております。主なもののみを取り上げましたが、概要の説明は以上となります。

続きまして、資料の2枚目でございますが、第3期の政策体系と第4期の政策体系を比較したものになります。この中で第3期計画では、政策1『子育て環境の充実』としておりましたが、第4期計画の中では政策1『就学前教育の充実』としましたのが大きな変更点となります。子育て環境の充実の中では例えば医療費助成でありますとか、子育て世帯の経済的な負担軽減という中身も織り込んでいたところでございますが、こういった内容につきましてはすでに策定が終わっております「イーハトーブはなまき子育て応援プラン」こちらに内容が含まれるということから、今回検討しております教育振興基本計画におきましては、家庭教育を含めた保育・教育の充実に特化させて『就学前教育の充実』をしたところ です。最後の『文化財の保護と活用』につきましては、第2次まちづくり総合計画と整合性を取りまして政策名としております。以上で第4期花巻市教育振興基本計画（案）について説明を終わります。ありがとうございました。

堀合副議長

概要版に基づき、説明していただきました。ここまでのところ一括して質問・ご意見を受けたいと思います。高橋委員。

高橋福子委員

ありがとうございます。新しい計画では「生涯学習」と「社会教育」と社会教育についてきちんと明記されてるので、やっぱり学んでほしいこと、今知ってほしいことを提供するというのも、1つの学びの継承だと思うので、ただニーズに応えるだけでなく行っていただければなと思います。

質問なのですが、学校教育にはSDGsのゴール「5 ジェンダー平等を実現しよう」がほとんど明記されているのに、社会教育や地域の社会教育には明記がないのですけれども、何か意図があるのでしょうか。

及川教育企画課長

はい、お答えいたします。このゴールのマークにつきましては、

再度きちんと確認をして、入れるべきところは入れさせていただきたいと思いますので、もう少しお時間をいただければと思います。よろしく願いいたします。

堀合副議長
菊池朋子委員

そのほか、ありますでしょうか。菊池朋子委員ですね。

『花巻市の教育を取り巻く現状と課題』というところで、「就学前教育の充実」とあります。小学校入学後の環境に馴染めない子どもが増加しているとあるのですが、私も現役の保護者でもありますが、やはり子どもだけではなくて保護者にも教育が必要だと感じる事が多々あります。私が思っていることが正しいわけでもないし、相手の思っていることが間違っているわけではないと思うのですが、やっぱり子どもがいくら素晴らしい教育を受けてきてもそれを受け止める親が「何だ、そんなこと」と受け止めきれない。せっきくの良い教育がもったいないことになってしまうと思うので、子どもへの教育はもちろんなのですが、保護者の学びの場というものも提供していただければ良い方向に向かうと思いますので、よろしく願いいたします。

及川教育企画課長

はい、ありがとうございます。計画本文の44ページをお開きいただきたいのですが、この中の取り組みで④子育てに関する情報の提供、『各家庭が、子どもが生まれ育つ基本的な場として適切に機能し、子どもたちが心身ともに健全に成長できるよう、家庭、保育園、幼稚園、認定こども園等、小学校、地域、行政が連携し、子育てに関する有益な情報を発信します。』ということで、事業といたしまして「家庭教育力向上事業」や生涯学習講座開催事業の「家庭教育支援講座」を取り組みとして位置づけさせていただいてところでございます。

堀合副議長

よろしいでしょうか、そのほかございませんでしょうか。福盛田委員、どうぞ。

福盛田委員

政策5『芸術文化の振興』の中でも先人の顕彰とありますが、資料のなかでも新渡戸記念館の出前教室（の実績が）0人だったということで報告されておりますけれど、やっぱり花巻の先人は新渡戸や宮沢賢治ばかりではないので、佐藤昌介や島善鄰など各地域にいろいろな先人がおります。そういった先人の記録を学ぶということも必要だと思いますので、教育の仕方とか教え方についてこれから進めていただきたいと思います。矢沢小学校、矢沢中学校は義務教育学校で9年制になりますが、そのなかでも特色ある学校づくりということで、新渡戸家を定期的に学ばせようということで連絡協議会でも要望しております。特色ある学校づくりも必要だと思いますので、ぜひそのあたりも検討していただきたいです。以上です。

及川教育企画課長

学校教育のほうで計画本文の50ページになりますが、⑤ふるさ

と学習の深化とございます。そのなかで先人教育も含めて実施するとしてございますので、今後この取り組みによりまして、花巻市民としてのアイデンティティの醸成を図るということで、児童生徒に向けて先人教育を取り入れていきたいと考えております。

堀合副議長
高橋典人委員

はい、よろしいでしょうか。そのほか、高橋委員どうぞ。

高橋です。概要版2枚目の体系図の政策2『学校教育の充実』について㊦地域、家庭の協力と教育力の活用とあります。私は学校地域コーディネーターですので、コミュニティスクールの立場から参加しているのですが、私が研修会を受けた頃は計画などにコミュニティスクールの文言が結構出てきたのですが、今回この計画にその文言は見当たらないし、地域コーディネーターの記載は本文にはありましたけれども、この体系図の中にはそのような文言が入っていないのは何か理由があったのでしょうか。

及川教育企画課長

コミュニティスクールという表現は確かにございませんが、それに代わる表現といたしまして、政策2『学校教育の充実』の施策5「学校・家庭・地域との協働の推進」ということで、「学校運営協議会」がコミュニティスクールの代わりとして、現在はこちらをメインに使わせていただいているということになりますので、コミュニティスクールの考え方がなかったというわけではなくて、現在はこの表現を使わせていただいているということになります。

堀合副議長

よろしいでしょうか、そのほかございませんでしょうか。菊池清委員。

菊池清委員

計画本文60ページのところなのですが、課題のところ「市民が各世代にわたり主体的に学ぶために」、これは良いと思いますが『すべての人が学びにアクセスできる環境を整え「誰一人取り残さない」姿勢』のところ、「誰一人取り残さない」という文言に違和感があって、例えば義務教育、それから命に関わることや最低限の生活というのは「誰一人取り残さない」ということはあるかもしれないけれども、生涯学習で「誰一人取り残さない」とか「全員がアクセスできる環境」というのは、すごく無理があると感じるのですが、そのあたりはどうなのでしょう。

及川教育企画課長

学習の意欲のない方は、やはり一定数いらっしゃると思います。逆に学習に興味のある方もいらっしゃると思います。少なくとも学習意欲のある方に対して学びにアクセスできるとか「誰一人取り残さない」というのはそういう考えになると思いますし、逆に関心のない方につきましては、関心を持っていただくような事業のほうを進めていきたいと考えております。

堀合副議長
千葉委員

よろしいでしょうか。千葉委員、どうぞ。

花巻市だけでなく、県や国も言っていることなのです。これは

課題なのですが、相当難しい課題です。たぶん永久に解決できないと思います。ですが、それをうたって「解決していきましょう、そういうスタンスでいきましょう」というところで、花巻市が取り入れたと私は理解しております。

堀合副議長

補足でしたが、そのほかございませんでしょうか。それでは時間もだいぶ過ぎておりますので、議題の（２）はここまでといたしまして、（３）新花巻図書館整備についてということで、１枚ものの資料をご覧いただきたいと思います。

事務局（梅原生涯学習課長兼新花巻図書館計画室長）

資料３に基づきご説明させていただきます。前回の第１回の社会教育委員会議でご説明した以降のご報告をしたいと思います。

最初に、１．これまでの経過という部分は先ほどの議題（１）のところでも経過としてご説明しておりますので、ここは資料を見ていただくこととしまして、２．新花巻図書館整備基本・実施設計について、こちらからご説明したいと思います。こちらについては、公募プロポーザルの設計業者は全国から 61 者の応募がありまして、９月に１次審査を行い、通過した 6 者により 11 月に文化会館で公開プレゼンテーションの２次審査を行いました。審査の結果、「昭和設計・t デ・山田紗子建築設計事務所共同企業体」が選定されまして、１月 7 日付けで契約を締結したところでございます。この設計者は、設計の初期段階から地域に密着して業務を進めたいとのご意向がございまして、花巻市の中心市街地のほうに設計作業の様子が外から見えるような、そういった現地事務所を開設する予定でございます。今、手続きなどの最終調整をしているところですので、近いうちに皆さんに公表できるのではないかと考えております。

この基本設計に関するワークショップ、こちらは 3 回行う予定なのですが、２月 21 日と 3 月 8 日この 2 日間、公募市民を含めた参加者により開催いたしました。１回目は 58 名の方、２回目は 61 名の参加で、とても活発なグループワークをしていただきました。参加者からいただいたご意見は反映できるアイデアなどを整理しまして、基本設計に反映する予定としておりまして、結果については第 3 回目、６月に開催する予定のワークショップでお示しする予定としております。

次に、３．今後の整備スケジュール案でございすけれども、整備にあたっては、国の「都市構造再編集集中支援事業補助金」や合併特例債を活用いたしますので、設計業務は実施設計も含めて令和 8 年度末まで行いまして、令和 9 年に用地を取得。その後、建築工事に移行しまして、令和 12 年度までの完成を目指しております。説明は以上でございす。

堀合副議長

はい。ただいま説明で何かお聞きになりたいこと等は。はい、ど

うぞ佐藤委員。

佐藤委員

委員の佐藤です。花巻駅前の土地約 3,704.12 平方メートルとありますが、どのあたりでどのぐらいの規模なのか。スポーツ用品店があったあたりなのか。どの程度のものだとかのイメージがでないので、だいたいの概要を説明いただければ。

事務局（梅原生涯
学習課長兼新花巻
図書館計画室長）
堀合副議長

整備基本計画をホームページ等にお示ししておりますので後ほどご覧いただければと思うのですが、スポーツ用品店跡地のところと現在共用で使っている駐車場、そのあたりの土地です。

ということですが、よろしいでしょうか。そのほか、ありませんでしょうか。それでは、(3)の新花巻図書館整備については以上といたします。

議題の(4)に移りますが、皆様から何かありますでしょうか。はい。高橋委員どうぞ。

高橋福子委員

今日、皆さんに第 67 回全国社会教育研究大会の報告について記載された会報等が配布されていると思うのですが、これは前に小国委員が社会教育委員も研修を受けたほうがいいのかというご意見を出されて、大会に社会教育委員を派遣して下さるようになったと思うのです。盛岡市で開催された全国大会の私は第 1 分科会に参加したのですが、全国の社会教育委員の方々がどのような活動をしているのかすごく面白くて、課題解決をするような社会教育委員会議をやっていたら面白いと思います。報告です。派遣ありがとうございました。

堀合副議長

参加しての感想等をいただきました。ぜひ、どうぞということです。そのほか、お持ちの方はありますか。

それでは、以上で議題は終了とさせていただきます。事務局のほうにお渡しいたします。

4 その他

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

菊池議長、堀合副議長議事進行をいただきありがとうございました。

続きまして、4 その他に入らせていただきます。事務局からは配布資料についてご説明させていただきます。先ほど高橋委員からお話がありましたけど、「社教連会報」ですとか「岩手の社会教育」というものをつけております。毎年定例で発行されているものです。どちらの会報にも掲載されておりますが、10 月末に盛岡で開催されました全国社会教育研究大会について紹介されておりますので、お時間のあるときに見ていただければと思います。

それから、「第 48 回全国公民館研究集会・令和 8 年度東北地区

社会教育研究大会」のご案内ということでチラシを配布いたしました。大阪の全国大会のご案内も配布すればよかったのですが、まだ案内が来ていないということで、まず東北大会について配布させていただきました。こういった形で社会教育委員の皆さんにも研修のほうに様々な形でご参加いただければということで考えておまして、全員分という形はなかなか難しいところがありますが、参加されているところがございますので、近くなりましたらご案内してまいりたいと考えております。事務局からは以上でございます。

そのほか、皆様から何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは閉会に入っていきたいと思っておりますけれども、菅野生涯学習部長から一言お礼のごあいさつを申し上げます。

5 閉 会

事務局（菅野生涯
学習部長）

おかげさまで委員の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。今後の事業に活かしていきたいと思っております。新年度も先ほど説明いたしましたように、各課・各施設で工夫を凝らして事業を行っておりますので、ぜひご覧いただきまたご意見をいただきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

菅野部長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして令和8年度第2回花巻市社会教育委員会議を終了いたします。本日はご出席いただき、大変ありがとうございました。